

山崎一隆氏（鹿橋）に瑞宝単光章

山崎一隆氏（鹿橋）が、令和6年春の叙勲で、瑞宝単光章を受賞されました。

5月28日、青森県庁にて勲記及び勲章を伝達されました。山崎氏は、東通村消防団本団副団長を務めるなど、永年にわたり消防発展に貢献し、社会公共の福祉の増進に寄与されたことが認められ、今回の受賞となりました。

山崎氏のご功績に対し深く敬意を表しますとともに、ご尽力に改めて感謝し、ご栄誉を心からお慶び申し上げます。



瑞宝単光章を受賞された山崎氏

漁獲量の増大を目指しサクラマス稚魚 10万尾放流 ～サクラマス稚魚放流式～

6月19日、村水産振興推進協議会（畑中稔朗会長）主催により、老部川内水面人工河川において、サクラマス稚魚放流式が行われ、平均尾叉長7.0cm、体重4.5gの稚魚5千尾が村内漁業協同組合長、下北地方水産事務所、東北・東京電力など関係者約30名の手により放流されました。

また、6月13日と14日に小老部川、野牛川、老部川へ計9万5千尾を放流しており、今期は合計で10万尾の放流を実施しました。

今年で27年目となるこの放流事業は、サクラマス漁獲量の増大を目的に行っている事業であり、村としても「つくり育てる漁業」の重要な魚種として、今後も資源の増大を図っていきたいと考えています。



関係者による放流



村田農園



野牛漁協



浮間中学校入村式

浮間中学校の生徒 村内で職場体験学習

東京都北区立浮間中学校の生徒4名が職場体験学習のため、6月26日から29日までの4日間、村に滞在しました。職場体験学習は、上田屋の村田農園、東通村産業振興公社、尻屋漁業協同組合と野牛漁業協同組合の4か所で実施され、生徒たちは、村の人たちの優しさや第一次産業に対する思いを肌で感じながら、積極的に仕事に取り組みました。

村と浮間中学校は、平成26年度から交流事業を実施しています。交流は今年度で11年目となり、これまで計52名の生徒が村内で第一次産業を体験しました。浮間中学校の奥村宏校長によると、村での職場体験は人気が高く、昨年度来村した生徒による職場体験報告会の影響もあってか、今年度の職場体験を希望する生徒が非常に多かったとのこと。

村としても、今回来村してくれた4名の生徒たちが、大人になった時に、また村を訪れてくれることを期待しています。ご協力いただいた多くの方々に感謝いたします。